

メモリアルデー #2 真理によって聖別されて、私たち自身から出て来て、三一の神の中へと入り、真に一となる

7/19-25 **OL Summary:** **I.** 真理は、神聖な光が聖書の事実を照らして、これらの事実の天的で靈的なビジョンを私たちの存在の中へと映し出すことです。新約では、真理はこのような「天的テレビ」を指しています。**A.** すべての神聖な事実は、御言の中に含まれており、御言を通して私たちに伝達されます。その靈が御言を照らすとき、私たちは天的テレビを持ちます。光は、御言の中の事実を照らし、これらの事実の天的ビジョンを私たちの存在の中へと伝達します。そして、私たちは真理を認識します。**B.** その靈は、真理の靈、実際の靈と呼ばれています。実際の靈は「天的電気」であり、それによって靈的な事物は私たちの存在の中へと映し出されます。彼は、私たちを「すべての実際」へと導き、御子であるすべてと御子が持っているすべてを、私たちに対して実際とさせます。**C.** 真理の靈、実際の靈が、聖書の中に記載され含まれている靈的事実を照らすとき、私たちは真理、実際を受け取ります。もし私たちが御言を読んでも、その靈の照らしがなければ、私たちは教理や「ニュース報道」を持つかもしれませんが、真理や実際やビジョンを持たないかもしれません。**D.** 真理は、光の照らし、光の表現です。言い換えれば、真理は、表現された光です。光は真理の源であり、また真理は光の流れ出であるので、私たちは光の中を歩くとき、真理を実行しているのです。**E.** 主は光であり、真理であり、御言です。御言は真理でもあり、光を与えます。なぜなら、御言の中に光があるからです。**F.** 真理は光の照らしであり、この光は命の光であるので、真理、光、命は分離することができません。神聖な光が私たちの中へと輝くとき、それは私たちの中で真理となり、命を私たちの存在の中へと分け与えます。**II.** 真理には二つの機能があります。**A.** 真理は、私たちを罪の束縛から自由にし、あらゆる消極的なものから自由になります。**B.** 真理は、地位上においても性情においても私たちに聖別して、私たちに神の要素で浸透します。**III.** 三一の神は、彼の言葉の中で私たちによって実際化され、私たちの存在の中へと分け与えられ注入されました。これが、私たちに自由にし、私たちに聖別する真理です。**A.** 私たちは失望したり、意気消沈したり、内側でむなしいと感じたりするとき、自分自身を開いて、御言へと来ることができます。しばらく読んだ後、何か私たちがの内側で起き上がり、私たちは主の臨在を享受します。**B.** このようにして御言を受け取ることによって、主からの何か私たちがの中へと造り込まれます。これは、生き、行動し、働き、私たちに分離する三一の神の実際です。**C.** 毎朝私たちは、書かれた御言の中で生ける御言に触れて、神聖な実際、すなわち、私たちの存在の中へと注入された、適用された言葉である手順を経た三一の神を持つことができます。神の要素がこのように私たちの存在の中へと注入されることは、短気、ねたみ、憎しみ、高ぶりのような消極的な事物から私たちに解放します。それは私たちにあらゆる種類の虚偽から解放します。そして私たちは、真の解放、真の自由を持ちます。**D.** 毎日私たちは、このようにして御言へと来る必要があります。私たちは毎朝、御言へと来る必要があります。もし可能なら、他の時にもこのようにする必要があります。**E.** 御言葉が私たちの靈の中で、生

ける靈とミングリングされる時、私たちは神の本質をもって聖別されます。**F.** このように御言と接触することによって、日ごとに神は私たちの中へと加えられます。その結果、私たちは神をもって浸透され、神と一にされます。**G.** 私たちの大きな必要は、生ける三一の神を、神の書かれた御言、生ける御言、適用された言葉を通して、私たちの中へと注入し、造り込んでいただくことです。**IV.** 真理の言葉を通してもたらされる聖別は、分裂の要因を対処することによって、その結果、一を生み出します。真理は聖別し、聖別は一を生み出します。**A.** 主イエス、すなわち御子は、真理です。その靈は、真理の靈です。御父の言葉は、真理です。御父は、御子の中に具体化されています。御子は、真理の靈として実際化されています。その靈は、御言と一です。**B.** 聖別する言葉、聖別する靈、聖別する命、聖別する神は、すべて一です。ですから、もし私たちが聖別されつつあるなら、私たちは自然に一です。なぜなら、分裂のあらゆる要因が取り去られるからです。**C.** ヨハネ17:17~23で私たちが見るのは、聖別が真の一を生み出すということです。なぜなら、この聖別は私たちに三一の神の中に保つからです。21節は言います、「それは、彼らがすべて一となるためです。父よ、あなたが私の中におられ、私がある中のように、彼らも私たちの中におられるためであり」一となるために、私たちは21節の「私たち」の中に、すなわち、三一の神の中におられる必要があります。**V.** 分裂には、四つの要因があります。**A.** これらの要因の第一は、この世的であることです。私たちがいる面においてこの世を愛するなら、この世的であることのその面は分裂の原因となります。**B.** 分裂のもう一つの原因は、野心です。私たちが御言を通して主と接触し、主にご自身を私たちの中へと注入していただくとき、このようにして私たちの存在の中へと分け与えられた真理は、私たちの野心を殺します。**C.** 分裂の第三の原因は、自己を高く上げることです。私たちは、名もない者になることを願うべきであって、キリストを唯一の重要人物、すなわち宇宙において首位である方として高く上げるべきです。**D.** 分裂の第四の要因は、意見と観念です。私たちは、自分の意見に固執すべきではなく、単純になって主の目標を追い求めるべきです。その目標とは、キリストを命またすべてとして回復して、召会を建造することです。**VI.** 私たちが自分自身から出て来て、三一の神の中へと入るとき、私たちは一であり、さらには成就されて一となります。**A.** 私たち自身の中には、分裂の四つの要因があります。もし私たちが自己の中にとどまるなら、これら四つのもので逃れることはできません。**B.** 聖別されることは、自分自身から出て来て、三一の神の中へと入り、キリストに私たちの中で生きていただくことです。このようにして、私たちは成就されて一となります。**C.** このような聖別が起こるのは、御言葉、すなわち真理によってであり、またその靈、すなわち真理の靈によってです。**D.** 「私が彼らの中におり、あなたが私の中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです」(ヨハネ17:23)。**E.** 野心はヨハネ17:21で暗示されており、自己を高く上げるとは22節で暗示されており、観念と意見は23節で暗示されています。**F.** 真の一は、御父の中に生き、キリストに私たちの中で生きていただき、御父の栄光、御父の表現の中で生きることです。

CP1:キリストの三つの時代のビジョン、真理をはっきりと見るために、聖書を用いて、適用して祈る

OL1:真理は、神聖な光が聖書の事実を照らして、これらの事実の天的で霊的なビジョンを私たちの存在の中へと映し出すことです。新約では、真理はこのような「天的テレビ」を指しています。ヨハネ8:12 こうして、イエスは再び彼らに語って言われた、「私は世の光である。私に従う者は、決して暗やみの中を歩くことがなく、命の光を持つ」。14:6 イエスは彼に言われた、「私は道であり、実際であり、命である。私を通してでなければ、だれも父に来ることはない」。

私は子供の時、キリストが私の罪のために十字架で死なれ、私のために彼の血を流されたことを教えられました。この事は、私が十九歳になるまで、私にとって教理にすぎませんでした。それから、キリストの死の天のビジョンが私の中へと映し出されました。その時、私はキリストが私のために十字架で死なれ、私の罪のために血を流されたことを見ることができました。私はこの事を見たとき、涙を流し、礼拝し、主に感謝しました。その経験はビジョンであり、真理でした。...その霊は、御言を照らす機会を求めておられます。その霊がそうされるとき、私たちは真理を受けます。私たちは真理を知るとき、事実、御言、その霊を持ちます。...私たちは御言を持って、その霊がなければ、ビジョンを持たないでしょう。...私たちが自分自身を主に開くときはいつでも、光が輝きます。光が御言を照らすとき、特定のものが際立つようになり、私たちに深い印象を与えます。これが真理です。

柱としての召会は、私たちすべての人で構成されています。ですから、若い姉妹でさえ真理を知らなければなりません。こういうわけで、私はあらゆる人に、特に若者たちに、御言の中へと入るよう励ましているのです。

OL2:三一の神は、彼の言葉の中で私たちによって実際化され、私たちの存在の中へと分け与えられ注入されました。これが、私たちが自由にし、私たちが聖別する真理です。ヨハネ8:32 またあなたがたは真理を知る。そして真理はあなたがたを自由にする。

36 だから、子があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由なのである。17:17 彼らを真理の中で聖別してください。あなたの言は真理です。

真理の第一の機能は、私たちが自由をすることです。真理を失うことは、束縛の中に、奴隷状態にあることですが、真理を知ることは奴隷状態から解放されること、自由にされることです。真理の第二の機能は、ヨハネ17:17に見られます。...真理は私たちが聖別します。

私たちは開いた心と開いた霊をもって御言に来るときはいつでも、直ちに真理としての御言とその霊に触れます。...毎日、二、三回、私たちは御言に来る必要があります。御言葉を離れて、その霊としての主に来ることはかなり難しいです。...御言は主と接触するための何とすばらしい道具でしょう! 私たちは失望したり、意気消沈したり、内側でむなしいと感じたりするとき、自分自身を開いて、御言へと来ることができます。しばらく読んだ後、何かが私たちの内側で起き上がり、私たちは主の臨在を享受します。これは真理、実際に対する経験です。それは三一の神が彼の御言の中で私たちの存在の中へと分け与えられることです。

適用:新人及び青少年・大学生編

若者や新人の皆さんは、キリストの三つの時代の

①「神が肉体になったこと」、②「肉体が命を与える霊になったこと」、③「命を与える霊が七倍の霊になったこと」のビジョンを見てください。真理とは、神聖な光が聖書の事実を照らして、これらの事実の天的で霊的なビジョンを私たちの存在の中へと映し出すことです。これらの3点に関して聖書を読むだけでなく、祈り読みして神聖な光の照らしの下で、霊的なビジョンを見てください。それぞれの聖書を用いて、適用して祈り、真理、すなわち、天的ビジョンをはっきりと見てください。

①の適用の祈り2コリント5:14 なぜなら、キリストの愛が私たちに押し迫っているからです。FN**キリストの愛**:私たちに對するキリストの愛。それは、彼が私たちのために死なれたことを通して、十字架の上で現されました。ローマ5:8 ところが神は、私たちがまだ罪人であった時に、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、ご自身の愛を、私たちに明らかにしておられます。ガラテヤ2:20 私のためにご自身を捨ててくださった神の御子... 3:1 十字架につけられたイエス・キリストが、あなたがたの目の前にありありと描き出された...

おお主イエスよ、あなたは私を愛し、私のために十字架に付けられました。私が罪のゆえに死ぬべきでしたが、罪のないあなたが私の身代わりに死んでくださり、贖いを成し遂げて下さいました。この事を思い、祈れば祈るほど、キリストの愛が私に押し迫り、私を感動して、あなたを愛させます。主イエスよ、あなたを愛します。

②の適用の祈り1コリント15:45 最後のアダムは命を与える霊となったのです。FN**命を与える霊**まず、受肉において、キリストは贖いのために肉体とされました。次に復活において、彼は命を分け与えるために、命を与える霊とされました。...今や彼は復活の中で、命を与える霊であり、霊の体を持っており、彼の信者たちに受け入れられるばかりになっています。私たちが彼の中へと信じる時、彼は私たちの霊の中に入れられ、私たちは、命を与える霊である彼に結び付けられます。こうして、私たちは彼と一つ霊となります。ピリピ1:19 イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、おお主イエスよ、あなたは贖いのために肉体となり、肉体は復活の中で命を与える霊となりました。それは私の霊の中に入り、私の命、命の供給、すべてとなるためです。主よ、私の必要はすべてイエス・キリストの霊の満ちあふれる供給の中にあります。主の御名を呼び、主の霊に触れ続けます。

③の適用の祈り啓1:4 彼の御座の前の七つの霊から、FN**七つの霊**本質と存在においては、神の霊は一ですが、神の運行の強化された機能と働きにおいては、神の霊は七倍です。...本書が書かれた時、召会は墮落して、時代は暗くなっていました。ですから、神の七倍に強化された霊が、地上における神の動きと働きのために必要でした。

おお主イエスよ、不法の奥義の働きにより、世の中の墮落は加速しています。しかし、私が墮落に対抗するために、命を与える霊は七倍に強化された霊となりました。その霊の照らし、探り、暴露し、命を与え、造り変える機能が七倍に強化されました。私は自分の力によってではなく、七倍の霊に頼り、勝利者になります。

CP2:日常生活で、主の御名を呼び求め、主の御言葉を祈り読みして、その霊に触れることを毎日実行する

OL1:私たちは、開かれた心と開かれた霊をもって御言に来るときはいつも、真理としての御言とその霊とに直ちに触れます。ヨハネ6:63 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。私があなたがたに語った言葉は霊であり、命である。エペソ6:17 また救いのかぶとを受け取りなさい。さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を[受け取りなさい]。

仮に、若者たちが朝ごとの復興の時間に、御言とその霊に触れて、それから学校に行くとして。一日中、学校において、この真理の言葉は彼らの内側で働き、彼らを分離して、彼らの振る舞い、行動、働き、思想、感覚において彼らをクラスメートとは異なる者として。

このようにして御言を受け取ることによって、主からの何かが私たちの中へと造り込まれているという明確な確信を持ちます。これは聖書の単なる知識や、主に関する事柄の知識だけではありません。それは生き、行動し、働き、私たちを分離する三一の神の実際です。これが私たちをこの世の人々と異なる者にします。**OL2:**三一の神の中にある唯一の道は、分裂のあらゆる要因を対処する聖別する真理によってです。**OL3:**分裂には、四つの要因があります。第一は、この世的であることです。私たちがあなただけにおいてこの世を愛するならば、この世的であることのその面は分裂の原因となります。**OL4:**分裂のもう一つの原因は、野心です。私たちが御言を通して主と接触し、主にご自身を私たちの中へと注入していただくとき、このようにして私たちの存在の中へと分け与えられた真理は、私たちの野心を殺します。**OL5:**分裂の第三の原因は、自己を高く上げることです。私たちは、名もない者になることを願うべきであって、キリストを唯一の重要人物、すなわち宇宙において首位である方として高く上げるべきです。**OL6:**分裂の第四の要因は、意見と観念です。私たちは、自分の意見に固執すべきではなく、単純になって主の目標を追い求めるべきです。その目標とは、キリストを命またすべてとして回復して、召会を建造することです。ヨハネ17:20 私はこれらの者のためだけでなく、彼らの言を通して私の中へと信じる者たちのためにもお願いします。21 それは、彼らがすべて一となるためです。父よ、あなたが私の中におられ、私があなたの中にいるように、彼らも私たちの中にいるためであり、あなたが私を遣わされたことを、世の人が信じるためです。

分裂の四つの要因(この世的であること、野心、自己を高く上げること、意見)は、聖別する真理によってのみ対処されることが出来ます。あなたは毎朝、主と接触し、生ける御言に触れ、神聖な實際をあなたの存在の中へと注入していただいても、なおも分裂的であると思うのでしょうか? ...私たちがこのようにして主と接触するとき、分裂の要因は克服されます。ここで私が分け与えているのは、単なる教えではなく、私自身の経験です。

適用:ビジネスパーソン・大学院生編

ビジネスパーソンや研究者のあなたは、忙しい中で主の御名を呼び求めることと御言葉を祈り読むことを実行してください。キリストを経験するために、あなたは忙しい仕事の中で主に触れ続けることを学んでください。ローマ 10:12 ユダヤ人とギリシャ人の区別はありません。

同じ主が、すべての者の主であって、彼を呼び求めるすべての者に、彼は豊かです。

エペソ6:11 神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。17 さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。

豊かになるかどうかは、ただあなたが日常生活で主の御名を呼ぶかどうかにかかっています。また、信者の日常生活は霊的戦いです。霊的戦いのために、御言葉を祈りと願いの手段により受け取ることが必須です。あなたは日常生活で、必ず主の御名を呼び求めることと主の御言葉を祈り読むことを毎日実行してください。

エペソ4:17 もはやあなたがたは、異邦人が彼らの思いのむなしさ(この世的になること、野心、高ぶり、意見と観念を含む)の中を歩くように、歩いてはなりません。22 あなたがたは、以前の生活様式において、あの欺きの情欲によって腐敗している古い人を、脱ぎ捨ててしまったのです。23 そして、あなたがたの思いの霊の中で新しくされ、24 また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着たのです。

古い人は古い生活様式が慣れており、主の御名を呼びません。主の御名を呼び、主の御言葉を祈り読みし続けることを訓練してください。これが思いの霊の中で更新され、古い人を脱ぎ新しい人を着ることで。

リ一全集 1994-97 第一巻下 p152-153:信仰を受ける道は、主を呼び求め、主に祈り、主の御言を祈り読みすることによって、その源、すなわち主、手順を経て究極的に完成された神と接触することです。...私たちは神の恵みの御座に進み出て、あわれみを受け、また恵みを見いださなければなりません。これは私たちが神と接触して信仰を受けなければならないことを意味します。これが唯一の道です。神と接触するのに時間を分離する必要はありません。いつでも、どこでも、あなたは彼と接触することができます。ただ彼を呼び求め、少し言葉を彼に語りなさい。そうすれば、あなたは信仰を受けるでしょう。この信仰はあなたを神に結びつけ、神をあなたの中に分け与え、注入します。このようにして、あなたは生ける信仰を持つでしょう。実は、それはあなたの中で動いておられる神ご自身です。こうしてあなたは信仰の人となります。

兄弟の証:通勤時や職場に着いた後、主の御名を呼び続けなければ、その日の朝、祈り読みした御言葉を完全に忘れてしまっていました。そして、思いのむなしさの中に留まり、むなしさのことを考えるようになりました。例えば、「この会社で働き続けて大丈夫なのか?」とか、「退職金をどのくらい貰えるのか?」と思い悩み、仕事に集中できませんでした。そんな時、自分を強いて主の御名を何度も呼び、御言葉を思い出し、それを使って祈りました。そうするとむなしさの思いが消え去り、主の中で集中して仕事に取り組むことができました。祈り:おお主イエスよ、開かれた心と開かれた霊をもって主の御名を呼び求め、主の御言葉を祈り読みすることを、毎朝実行します。その後、仕事にも主の御名を呼び、御言葉を思い出して短く祈ります。神聖な實際を私の中に注入してください。むなしさの思いを取り除いてください。キリストの平安が私の思考を護衛してください。主の証のために、主の中で集中して仕事に取り組むことができますように。

CP3:御言葉を口ずさむことにより、一つの住まい(自己)から別の住まい(三一の神)へと移り、一の中で建造に至るヨハネ17:21 それは、彼らがすべて一となるためです。父よ、あなたが私の中におられ、私がある中の中にいるように、彼らも私たちの中にいるためであり、あなたが私を遣わされたことを、世の人が信じるためです。22 あなたが私に与えてくださった栄光を、私は彼らに与えました。それは、私たちが一であるように、彼らも一となるためです。23 私が彼らの中におり、あなたが私の中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです。また、あなたが私を遣わされたこと、あなたが私を愛されたように彼らを愛されたことを、世の人が知るためです。

OL1:毎朝私たちが御言に来るとき、外側では私たちが御言に触れていますが、内側ではその霊が私たちに触れています。御言葉とその霊(両方とも実際です)によって、私たちは聖別されます。私たちが御言に触れれば触れるほど、またその霊が私たちに触れれば触れるほど、ますます私たちは自分自身から出て来ます。私たちは、一つの住まい(自己)から別の住まい(三一の神)へと移ります。**OL2:**毎日私たちは、このように移る必要があります。なぜなら、自己の中には、この世的であること、野心、自己を高く上げること、意見と観念があるからです。

OL3:いったん私たちが自分自身から出て来るなら、私たちは聖別され、分裂の要因から分離され、そして分離されて神へと帰されるだけでなく、神の中へと入ります。

OL4:この成就された一が、真の建造です。これは命における成長です。**OL5:**命において成長することの意味は、私たちが自分自身から出て来て、三一の神の中へと入り、キリストに私たちの中で生きていただくことです。もし私たちが三一の神の中へと入り、キリストに私たちの中で生きていただくなら、私たちはどの地方の聖徒たちとも一になることができます。**OL6:**成就されて一となることの意味は、この世的であること、野心、自己を高く上げること、意見と観念から救い出されることです。**OL7:**「私が彼らの中におり」—この意味は、御子が私たちの中で生き、行動するということです。**OL8:**「あなたが私の中におられる」—この意味は、御父が御子の中で生き、行動するということです。言い換えれば、御子が私たちの中で生き、行動するとき、御父は御子の中で生き、行動します。この二重の生きることと行動によって、私たちは成就されて一となり、栄光の中で御父を表現します。**OL9:**三一の神の中でのみ、真の建造、真の一を持つことができます。また、キリストが私たちの中で生きる時のみ、この建造は優勢なものになります。そして、私たちは栄光の中で御父を表現し、真の一を経験することができます。

適用:奉仕者編

ヨシュア記結晶の学び#1アワトラインの抜粋:

①ヨシュア1:5 あなたの生涯のすべての日々、だれもあなたの前に立ちはだかることはできない。私はモーセと共にいたように、あなたと共にいる。私はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。 6 強くあれ、大胆であれ。
②8 この律法の書をあなたの口から離すことなく、あなたはそれを昼も夜も口ずさみ、その中に記されているすべてのことにしたがって、必ず行なわなければならない。そうすればあなたは自分の道を繁栄させ、また成功する。 9 私はあなたに命じたではないか? 強く

あれ、大胆であれ。恐れてはならない、おののいてはならない。あなたがどこへ行っても、エホバ・あなたの神があなたと共にいるからである」。

③ヨシュアが神の御言の中に記されていることを遂行する鍵と、神の約束された地を取ることにけるヨシュアの繁栄、成功、強さ、大胆さの鍵は、ヨシュアが神の言葉を自分の口から離すことなく、それを昼も夜も口ずさむこと(思い巡らすこと)でした。「あなたの口」という言葉は、口ずさむことがおもに声に出して語るることによって実行されたことを示します。

④御言葉を口ずさむことは、牛が草を食べるように「反すうする」ことです。私たちは神の言葉を口ずさむ時、それを多くの考慮と再考慮をもって受けます。...それによって、私たちは神の言葉から受けるものを再考慮することによって養いを受けます。

⑤御言葉を口ずさむことは、祈り読みよりもより豊かで、より広く、より多くのものを含みさえしています。なぜなら、口ずさむことは、祈り、礼拝、享受、会話、頭を垂れること、更に両手を挙げて神の言葉を受けることを含むからです。神の言葉に私たちの両手を挙げることは、私たちがそれを熱心に、喜んで受け入れ、それに対してアーメンということを示すことです。

⑥私たちはこのように霊をもって主の言葉に触れ、彼との継続的な交わりの中に留まる時、聖書の言葉によって浸され、温められ、新鮮にされ、潤され、供給されているという感覚をもつはずでです。私たちがすべき一つの事、最上の事は、彼に触れ、彼を礼拝し、彼を信じ、彼を吸収し、彼を享受し、彼を追い求め、彼を獲得することです。
⑦私たちは真に時間を取って神の言葉を口ずさむ時、神をもって注入され、...神を輝かし出します。

奉仕者としてあなたは、真理の回復の模範になるために、真理に反対することに対抗する必要があります。

兄弟の証:私が30歳の時に全時間奉仕を辞めて、仕事に就いた時から、仕事が忙しくなっても召会生活のために残業をどのように制限するかということを学び始めました。この学びのおもな妨げは、三つありました。

①内側にある天然の性質は義理人情を好んでおり、一人だけ残業しないことが情けないと感じること(日本人にとってこの点が一番大きな妨げだと思います)、

②皆がこの世の流れの中で流されており、その流れに逆らうのは容易でないこと、③上司に目を付けられ、会社での将来を失いはしないかとの心配です。主の憐れみにより、私はこれらの主要な問題を見出し、職場で御言葉を口ずさむことにより、自己を否み、「義理人情と情欲を伴う私の古い人、私に対するこの世の力はすでに十字架に付けられました。主を賛美します。私はただ思いを霊に付けて、十字架の殺す効力にあずかります。また、将来の心配事を主に投げかけます。人知をはるかに超えた神の平安が私を護衛してください。生きているのはもはや古い私ではなく、キリストが私の中に生きておられるのです。アーメン!」と祈り、解放され、少し真理を実行することができました。

この証にあるように、「お人好し」の傾向が強い日本人にとって、天然の人の中の義理人情や善人主義を対処することは非常に難しいです。しかし、これを対処しないと、この世の潮流に対抗することはできません。